

# 結城一高の生徒4人が看護師を体験

結城一高2年の飯田龍希君、石原達也君、久保玲奈さん、望月真碩さんの4人が10月10日から12日の3日間、職業体験で城西病院を訪れ、看護師の体験をしました。

10日は病院内の手術室や総合健診センター、救急処置室、MRI、CTなどの部屋や機械を見学。午後から関連施設の介護老人福祉施設「すばる」と通所リハビリセンター「茶釜の湯」を見学しました。

11日から看護師体験で、一般病棟と地域包括ケア病棟で体験しました。包帯を巻いたり血糖値や脈拍、血中酸素濃度などの測定、車いす体験などをし、患者さまの介助や一緒に折り紙を楽しんだりしました。

城西病院での看護師体験が2度目という飯田君は「今回の体験で、看護師が患者さんと接する時にすごい気遣いをしているのが分かった。患者さんに信頼される医療人を目指したい」と語り、看護師志望の望月さんは「看護師はやることが多く大変だけど、メリハリをもった楽しそうなイメージも感じた。体験を通して、患者さんに信頼される看護師になりたいと思った」と話していました。石原君は「いろんな患者さんと話すことができた。看護師は女性の職場というイメージがあったが、男性の看護師も活躍していて、病院のイメージが変わった」と語り、久保さんは「いろんな症状の患者さんと接する看護師の仕事を体験でき、勉強になった。人のために行動している、医療の道に進みたい」と感想を語っていました。

平成30年10月12日

